



東山小学校だより

令和 2年10月9日

※ 町内配付10月9日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

## 東山小学校 大運動会 明日 屋内開催!!

本来は当日の朝に実施可否を決定するところですが、当日朝を待たず、断腸の思いで8日(木)に今年度の運動会は、屋内(体育館)開催とさせていただくことを決めました。

台風の影響による降雨予報(降雨確率80~90%)もさることながら、グラウンドコンディションの回復が見込めず、屋外での実施を断念しました。体育館で行うため、短距離走やリレーなどは一直線を折り返して走る形にするなど、処々に工夫をしております。ただ、持久走と綱引き、そして牛太郎との綱引きができないのがとても残念です。また競技数が少なくなったことで、お昼過ぎには日程を終える予定です。

子どもたちは、楽しみにしていた牛太郎との綱引きができなくなったことはとても残念に思うようですが、グラウンドでの実施でなくなったことについては、あまり頓着がないようです。その場その場で一生けんめいにやることや、楽しむことについては、子どもたちが一枚上手なのかもしれません。8日に行った体育館実施のための練習でも、子どもたちはとても前向きに取り組んでいました。明日は体育館で熱戦が繰り広げられることと思います。

### 校区民の皆様へ

前号で、運動会が雨天体育館開催の場合は、地域・ご来賓の皆様には来校をご遠慮いただく旨のお願いをいたしました。競技方法を工夫し保護者席をフロアに設定したことで、来賓席をステージ上に、体育館ギャラリー(2階)を、地域の皆様の観戦席としました。ご都合がよろしければ、ぜひ子どもたちの頑張りをご覧いただき、ご声援くだされば幸いです。

【 開会式 9:30~ / 競技開始 9:50~ / 閉会式 12:40~ 】

※ ご来場の際は、体育館玄関からお入りいただき、体育館ギャラリーでご観戦ください。

平成14年の当校創立以来の運動会の記録を見ると、震災後の平成17年に小千谷市体育館を借りて…翌18年には雨天のため体育館で行った記録があります。震災にも途切れることなく、今年で19回目を数えるはずであった「校区民 大運動会」。そこには東山地区の皆様のお熱い思いを感じます。今年は残念ながら学校単独…さらには屋内での開催となりますが、校区民の皆さんの分まで躍動し、皆さんの熱意に応える感動の運動会にしたい!と張り切っています。

### < ~ スピンオフ ~ グラウンドこぼれ話 >

当校のグラウンドは水捌けがめっぽう悪く、雨が降ったあとは低反発マットのような状態になります。暗渠の利きが悪いのか、土自体が悪いのか…一番の原因は、グラウンド全面に繁茂しているコケ類(イシクラゲ)が大量に保水するためであろうと思います。8月末から除去をしてみました。

山平重機さんに、除雪車のような重機で表面のコケ類を剥ぎ取ってもらえないかをお願いしたところ、グラウンドが傷まないように丁寧に手作業で2/3ほどを除去してくださいました。その折には篠田振興協議会長もお手伝いして下さったそうです。その後残りの1/3は職員が手分けをして行い、ほぼ全面コケ類の除去ができました。かなり状態は改善されたように思いますが、雨が降ると、やはりフワフワズルズルの状態になります。どうやら粘土質の土にも問題があるようです。校区民運動会の会場となる当校グラウンドを良好な状態にすべく、今後も市当局と相談しながら、改善に努めていきたいと思っております。ちなみに暗渠は震災後に再敷設されていることが分かりました。

## 元気ハツラツ！「あいさつ」が変わった!?

8,9月の生活目標は「やる気スイッチON!」でしたが、その中で「元気ハツラツ うれ<sup>しい</sup>Cあいさつをしよう」として一連の活動を行いました。その活動は一段落したのですが、最近になって、際だって子どもたちがいきいきハツラツとしている感じがします。全校朝会や集会などで、「はいっ!はいっ!」と返事をしながら話を聞いたりなど反応が良いのです。また登下校時の教務室でのあいさつも以前とは違って、室内にいる先生を意識してあいさつしている様子がうかがえます。10月になって5~6人の子は、教務室へのあいさつのと校長室にも来てくれます。中でも龍生さんは「今日も元気です!」などと一言添えてくれますし、玄晴さんなどは「校長先生、今日もカッコいいですね〜」などとお世辞まで言ってくれます。自然と会話が生まれ、なんとなく嬉しい気持ちになり、活力をもらえた感じがします。

運動会前で充実していたり、気合いが入っていたり…ということもあるのですが、あえて先月の取組が奏功しているのだと信じています。知識として「あいさつとはこういうものだ…」と教えられることも大切ですが、まずは形からでも経験から自然と得て、身につけていくことの大切さを改めて感じます。校舎に響く子どもたちの元気なあいさつに元気をもらう今日この頃です。

## 「牛の角突き 10月場所」

9月場所に続き、全校児童職員で10月場所に参加しました。「GoToトラベル」に東京都発着が加わったこともあってか、お客様が先場所の倍ほどもおいでではないか…という状況に子どもたちも気合い十分!「闘牛の歌」は大きな声が出ていて、とても良い姿をご披露できたのではないかと自負しているところです。また、今季から清掃する範囲を特別席にまで広げた清掃ボランティアも縦割り班の上級生がリーダーシップを発揮して、手際よく行えました。

また学年別の学習(活動)では、1,2年生は生活科の学習で育てたアサガオで穫れたタネを来場者に配る活動を、4年生は塾子衆や角突き実行委員会関係者へのインタビュー活動を、5,6年生は先場所に引き続き来場者へのアンケート活動を行いました。どの子もマスクにフェイスシールドを着け、法被を着て一生けんめいに取り組んでいました。そこには初対面の人にモジモジするような様子はなく、場に応じた適切な態度で活動できていたように思います。

普段の学校生活や学校で行っている学習と、闘牛場での学習(活動)が少しずつ結びついてきていることを実感できた、有意義な10月場所でした。

